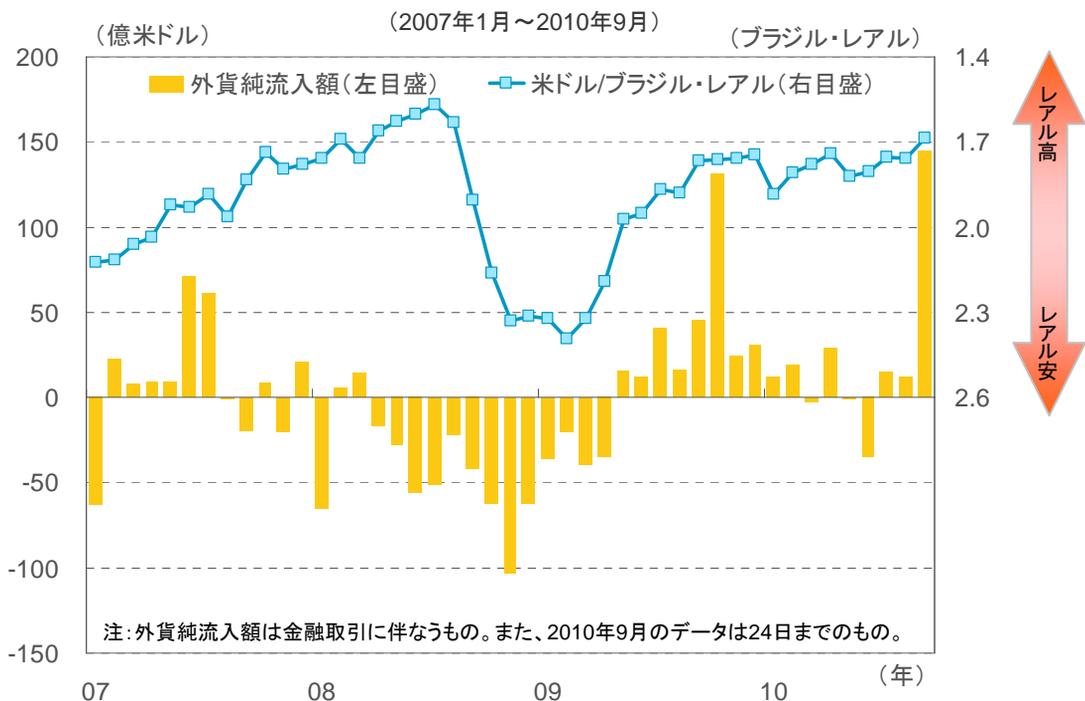


ブラジルの金融取引税の 税率引き上げについて

ブラジルのマンテガ財務相は4日、海外投資家が同国の債券を取引する際に課している金融取引税の税率を2%から4%へ引き上げると発表しました。今回の税率引き上げは5日に実施されます。なお、株式に対する金融取引税の税率(2%)に変更はありませんでした。

ブラジルへの外貨流入額とレアル相場(対米ドル)の推移



(ブラジル中央銀行およびブルームバーグのデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

ブラジル・レアルの過大評価とそれが国内輸出産業に及ぼすダメージを警戒するブラジル政府は昨年10月、海外からの投機的な資金流入の抑制を狙い、海外投資家による同国株式・債券への投資に対する金融取引税の税率を(世界的な金融危機への対応の一環として下げた)0%から2%に引き上げました。しかし、その後も、相対的に高い経済成長期待や金利水準などを背景に、同国金融市場への資金流入が続き、当局は、レアル高に対する強い懸念を繰り返し表明していました。

そして、今年9月には、大型増資などの影響もあり、金融取引に伴う外貨純流入額が、前回の税率引き上げ時の昨年10月の水準を上回り過去最高に達しました。こうしたことなどを背景に通貨上昇圧力が一段と高まり、中央銀行の為替介入にもかかわらず、レアルは連日、対米ドルで年初来高値を更新する展開となりました。これを受

※上記グラフ、データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

け、財務相は、レアルの上昇を阻止する措置を講じると言明していました。そして、10月の大統領選挙後にも、金融取引税の税率が2倍に引き上げられるとの観測報道までありました。同財務相は9月28日時点で、そうした計画は無いと述べていたものの、今回の金融取引税の税率引き上げは、市場にある程度織り込まれていたとも考えられます。

今回の発表はブラジルの金融市場の取引終了後に行なわれたため、相場への影響はこれまでのところ定かではありませんが、レアル高抑制に向けての当局の強い姿勢を受け、為替や債券市場を中心に、短期的には一定の影響が見られる可能性があります。ただし、日米欧などとの成長格差や金利水準の違いなどを考えると、ブラジルの中長期的な投資魅力にいまのところ変化は無いと考えられます。ちなみに、4日のニューヨーク外国為替市場でのレアル相場（対米ドル）の動きを見ると、今回の発表に前後して約0.6%の下落（1米ドル＝約1.69レアル→約1.70レアル）となっています。

なお、レアル高の抑制という当局の目的が達せられないような場合には、一段の対応が採られる可能性があり、その場合には、政府系ファンド（SWF）による米ドル購入や、金融取引税のさらなる税率引き上げなども考えられます。

以上

ご参考

ブラジル大統領選挙について

<10月3日の上位3候補の得票率>

1位	ジルマ・ルセフ候補(労働党、前官房長官、ルラ大統領の後継指名)	: 約47%
2位	ジョゼ・セラ候補(ブラジル社会民主党、前サンパウロ州知事)	: 約33%
3位	マリナ・シルバ候補(緑の党、元環境相)	: 約19%

過半数を獲得した候補がいなかったため、得票率上位2候補によって第2回投票が行われる。

<今後の主な日程>

(出所: イタウ・ジャパン・アセットマネジメント株式会社)

10月5日(火) : 第2回選挙運動開始

10月14日(木) : 大統領・州知事選挙第1回投票の公式結果の発表期限

10月16~29日 : テレビ・ラジオによる選挙運動可能期間。ただし、早まる可能性あり。

10月30日(土) : 第2回選挙運動最終日

10月31日(日) : 第2回投票日

11月11日(木) : 大統領・州知事選挙第2回投票の公式結果の発表期限

(ただし、非公式の結果は投票直後の1日(月)あるいは2日(火)に判明する公算大。)

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。